FAQ PLCのデバイスからデータ表示のオーバラップ画面を表示する設定例

ここをクリック

作成日:2014/11/12

1



オー

 ∇

Г

Г

バーラップ設定				×
No.0 オーバーラッフ	ノーマル	コール	マルチ	Video
No.1 オーバーラッフ*	ノーマル	コール	マルチ	Video
No.2 オーバーラッフ。	ノーマル	コール	マルチ	Video
				キャンセル

・オーバラップアイコンをクリックして、 オーバラップ設定を表示します。

・オーバラップ設定でNo. Oをチェックし、ノーマルを選択。

1-1-57791-760		×
	#~16°-3977Na 10 📑	
		Ĩ
	□ システム市内ン使用する	
	F OFFICIAL CARACTERISTIC	
	T 2-X-(25-2) 2-X-(25-2) 2-X	1
	10167 [967]] 10.801	
	编码内部性	
	74705-	19
	N'9785-	
	94A (71080904888888888	
	<u> 日2間</u> 4+2	1

オーバラップ(ノーマル)を、
このままベース画面に配置します。



FAQ PLCのデバイスからデータ表示のオーバラップ画面を表示する設定例

作成日:2014/11/12

2





・データ表示アイコンをクリックして、 数値表示の設定を表示します。

・表示するメモリとしてPLCのデータレジスタを指定。
この場合はDT320を設定。
設定後、オーバラップ画面No. Oに配置します。





FAQ PLCのデバイスからデータ表示のオーバラップ画面を表示する設定例

作成日:2014/11/12

3



<mark>M</mark> マクロモード	ONマクロ[1](スクリーンNo[0])
0	\$u00110=0 (W)
[]]]	(\$u00111=1 (W)
2	SYS (OVLP_SHOW) \$u00110

M マクロモード	OFFマクロ[1](スクリーンNo[0])
0	\$u00110=0 (W)
[]]	[\$u00111=0 (W)
2	SYS (OVLP_SHOW) \$u00110

・マクロモードを使って任意のPLCのデバイスのON、OFFで、
オーバラップ画面の表示・消去をします。

・先ずパーツのマクロをクリックします。
マクロ設定が表示されますので、PLCのデバイスを設定します。
例えば、内部リレーならR110。データレジスタのビットなら
DT5100-02(DT5100の2ビット目を表す)を入力。
・ONマクロ(接点やビットがONに立ち上がった時実行)
OFFマクロ(接点やビットがOFFに立ち下がった時実行)
をそれぞれマクロプログラムを作成登録します。
例では、\$u00110にオーバラップ画面No.0を
\$u00111は1で表示、0で消去のデータになります。
オーバラップ表示用コマンドはSYS(OVLP SHOW)です。



